

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「ひびく心 はずむ体 見つめる目」
 ○学習及び生活の基礎基本がわかり、問題解決する力、進んで学習する力を育てます。(知)【ひびく心】
 ○豊かな人間関係を通して、他者を思いやり、望ましい判断や言動ができる力を育てます。(徳)【ひびく心】
 ○健康で安全な生活を心がけ、心身ともに健やかな生活を送る力を育てます。(体)【はずむ体】
 ○社会の一員として行動し、新治の地域と豊かな関わり合いができる力を育てます。(公)【みつめる目】
 ○多様性を尊重し、望ましい共生社会を創る力を育てます。(開)【みつめる目】

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

〈自分で判断する力〉
 〈言語能力、コミュニケーション力〉
 〈自他を大切に、社会と関わる力〉

具体化した資質・能力

自分で決定する力 主体性・積極性
 伝える内容を明確にする能力 豊富な語彙力
 社会生活の中での協調性 相手の立場になって考える力

中期取組目標

○新治のよさである自然環境や地域との関係性を持続して活かしながら、よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指します。
 ・1年目は、新治の子どもたちに身に付けてほしい学力やコミュニケーション力について教職員間で共有し、育成するための教育活動について授業実践や研修を通して見直しします。2年目は、目指す資質・能力育成のための教育活動の実践と改善に努め、3年目は考えや想いをよりよく表現し合える資質や能力の育ちを検証します。
 ○3年間を通して、望ましい言動や表現ができる子の育成、学びの楽しさを実感できる教育活動の改善、地域や保護者等の学校関係者と共に育む学校づくり、全教職員のチーム力の向上の推進を図ります。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	・重点研究では、「コミュニケーション能力を伸ばす授業づくりや単元づくり」の研究を継続し、身に付けたい力育てたい児童像を明確化し、実態に応じた各単元でのより効果的な指導方法や支援のあり方を意識した授業づくりの研究を実施していく。個の支援に対して協力体制を組みながら、きめ細かい学習支援を継続して行う。
担当	教師力を高める委員会

学力向上に関わる本校の状況

本校では、探究的な学習を通して、材と豊かに関わっていく子の育成を目指し、学校教育目標と児童の実態と合わせて「探究的な学びの楽しさの実感」と「人・モノ・地域との関わり合い」を軸に近年、指導・支援を進めてきた。地域と育つ新治小学校という視点を持ち、その中から探究できる材や課題を見付けて、取り組むことの効果が期待できるので、今後も継続していく必要性があると考えている。子どもたちは、昨年度より「成長している」と感じていることがアンケートの結果で分かっている。「授業中、自分の考えや気持ちを発表することができます」の棒グラフは73%と他の項目より低いのですが、昨年と比べると6ポイントアップし、成長が伺えた。今後も、「相手の話を最後まで集中して聞くことができる」「相手が伝えたいことを考えながら聞くことができる」などの育てたい児童の具体的な姿を教職員で共有しながら、目的意識をもって主体的で対話的な学びが深まっていくような授業展開を意識していこうと思う。各教科の学習面においては、内容の系統性を教師間で共有し、発達段階に応じて学校全体を通して継続した支援を努めていこうと考えている。保護者アンケートの結果を踏まえ、「家庭で進んで勉強している」「取り組んでいることを根気よく最後まで取り組んでいる」ことが課題だと考えているご家庭が多く、学校でもその課題を一緒に受け止めて改善に努めていこうと思う。

今年度の目標

・学校として育んでいく力を焦点化し、「学力向上アクションプラン」に策定する。・重点研究で、育てたい児童の具体的な姿を共有しテーマ「主体的で対話的なコミュニケーション力の育成」の実現に向けて、主体的に学習に取り組む態度を養う・朝のスキルタイムでの基礎・基本の定着を図る。・児童支援専任や専科担当教諭と連携し、きめ細かい学習支援を行う。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
 ・日々の実践における、授業改善の取組
 学年研やブロック研や重点研の指導案検討などを活用し、授業改善の工夫や進め方の情報共有をしたり、互いに質問・相談をしたりする。
 教材やワークシート作成などの授業準備を分担したり、一緒に行ったりする。
 ・キャリアステージを生かした授業改善の取組
 メンター研修の研究計画を全職員に周知し、講師やファシリテータとして全職員が関わっていく。教育実習の示範授業を、該当者以外の教員も授業改善の機会として授業参観に積極的に参加していく。
 ・研究授業を通して行う、授業改善の取組
 単元の指導内容を分析し、児童のもつ課題の実態に合わせた、各授業時間の課題設定を工夫していく。
 ・個別支援に対応した教室の設置やデジタルスキルの導入を行い、児童の基礎基本の学習の定着を図ったり、苦手な単元の定着が繰り返されるような取組の充実を図る。

下半期

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	・十日市場中ブロック共通の「言葉の大切さを伝える ～心をつなぐ言葉～」に取り組み、ふわふわ言葉の大切さを意識し、相手を思いやる気持ちの育成に取り組む。・新治ラリー、運動会、わくわくデー、たてわり活動、卒業式など、同学年だけでなく、異学年の児童の交流を通してよりよい人間関係の育成に取り組む。
担当	規範意識を高める委員会

豊かな心に関わる本校の状況

本校は豊かな自然環境や協力的な地域の見守りの中で、子どもたちは落ち着いて生活している。今年度は一般級は全学年単級となり友達のよさを認め合いながら、学校生活を送っている児童も多い。次第に挨拶ができる子が増えてきて、たてわり活動の充実から、他学年の友達とも自分からコミュニケーションを図ろうとする児童もいる。そのような中で、深く物事を考えずに相手を傷つける言葉や言葉を言うことも多い。相手の気持ちを考えるだけでなく、どのようにしたら上手に自分の気持ちや思いを伝えられるのか、課題となっている。小規模校であることから、異学年との交流を深めることで、人との関わりを増やし、友達のよいところを理解したり、真似したりして、よりよい人間関係の育成に取り組んでいきたい。

今年度の目標

豊かなコミュニケーションを通して、共に楽しく学校生活を送る自分も友達も大切にする

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
 ・「道徳の時間」を充実させ、相手の気持ちや場面での考えに思いを寄せる機会を増やす。
 ・異学年集団の活動を充実させ、自分だけでなく、互いを思いやった活動につなげる。
 ・2年目を迎える重点研で取り上げる「コミュニケーション能力の向上」についての研究を深め、いろいろな教科での授業実践につなげる。

下半期

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	・学校保健に員会では年度ごとに児童の健康に関する課題となるテーマを設定し、年間を通して各クラスで話しを進め、学校全体で意識的に一つの取組を行う。・なわフェスを設定し、冬でも積極的に運動できる環境を整える。・運動委員会を中心に外でできる体力を伸ばす簡易的な運動に親しむ機会を設ける。
担当	規範意識を高める委員会

健やかな体に関わる本校の状況

令和4年度までは感染症拡大に伴う生活様式の変化に応じた健康課題に取組を続けてきた。保護者との連携を意識し、生活を整える工夫する様子も見られた。今年度は清掃をテーマを取り上げ、自らの健康をみつけ、課題解決に取り組む。また自らの健康を高める意識を培うことで自他を大切に、社会とかかわる力を育みたい。

今年度の目標

全校で清掃について振り返り、課題解決に取り組むことができる。休み時間に体力を伸ばすための運動遊びを行う環境づくりをする。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
 学校保健委員会で清掃の意義を理解する。健康に与える影響について考える。体力テストで自分の得意とする運動能力や苦手とする運動能力を理解する。過去の体力テストなどのデータから、新治小学校の多くの児童が苦手としているものを理解し、それらを伸ばせる遊び場について考える。

下半期

学校保健委員会では各クラスで行った取り組みを全校で共有する。清掃に関する課題解決への取組を行う。運動委員会を中心として、苦手な体力を伸ばすことができる遊び場を設定し、中休みや昼休み、授業などで活用する。なわフェスを設定し、寒い時期でも積極的に体を動かす場面をつくる。